

聖霊降臨節第24週 歓迎礼拝

2016年10月23日

第一礼拝(休会) 歓迎礼拝(午前10:30～) 夕拝(しばらく休会)

第1部 ^{プレイス アワー} PRAISE HOUR (賛美の時)

※歓迎の賛美 同

第2部 ^{バイブル アワー} BIBLE HOUR (みことばの時)

聖書朗読 『イザヤ書』46章3-4、12-13節(旧約1202頁) .. 司 会 者

黙 想 同

メッセージ 「神は時間を気にしない」 近 伸之牧師

※応答の賛美 新聖歌208「イエスは愛で満たす」 同

感謝の献金 同

感謝の祈り 片山 敬子姉

諸 案 内 (来信および集会案内) 司 会 者

諸 報 告 (来会者紹介、報告および暗唱聖句) 近 伸之牧師

※頌栄の賛美 新聖歌198「**GOD BLESS YOU**」(1節のみ) 同

※派遣の賛美 新聖歌54「主の祈り」(前方スクリーン参照) 同

※祝福の祈り 近 伸之牧師

※後 奏 同

※印の所では、お身体の不自由な方以外はご起立をお願いします。

※第一礼拝は休会

司 会：横堀 正美兄
集 会：笹川 清子姉
映 像：近 伸之牧師

賛美・音響：賛美チーム
録 音：片山 勝三兄
録 画：近 伸之牧師

※CSは休会
掃 除：片山 敬子姉

説 教 メ モ

- 1) 日野原重明氏は60歳、アブラハムは75歳、モーセは80歳。神の召命に「遅すぎる」という言葉はない。
- 2) 人は時間に追い立てられて生きている。だが信仰とは、時間を越えた、永遠の神の時間軸で生きること。
- 3) 地上の人生は、突然終わりを迎える。だが信仰者は、天国での続きがある。無駄な瞬間は一つもない。

先週のみことば

どうか今、【主】があの日々に約束されたこの山地を私に与えてください。

(ヨシュア14章12節a)

今週のみことば

わたしは、わたしの勝利を近づける。それは遠くはない。わたしの救いは遅れることがない。

わたしはシオンに救いを与え、イスラエルにわたしの光栄を与える。

(イザヤ46章13節)

個人、団体からの来信

2016年10月23日

秋の特別講演会の案内[11月20日(日)午後4時～福音教会]／北新潟キリスト教会より、秋の行事案内[10月30日(日)より11月6日(日)まで文化展覧会、10月30日(日)の午後にはバザーを開催]／聖ヶ丘バイブルキャンプより諸連絡／ギャラリーカフェ真璃(佐藤真由美さん)よりハガキ

先週の集会出席者数

10/16(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子1 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児2 成人女性1		
	第一礼拝	男2 女5 計7		※月に一回、実用書道教室を開催
	第二礼拝	男12 女19 計31	10/17(月)	月曜家庭集会 (休会)
	(子ども)	男児1 女児4	10/19(水)	水曜祈禱会 (牧師不在のため休会)
	※夕拝はしばらく休会としています		10/14(金)	しゃべり場タピタ 男- 女5 男児1
		10/14(金)	有志(男4名、女8名)にてバザー準備	

諸集会のご案内

10/24(月)午前9:30	実用書道教室	『箴言』16章9節	書の指導：藤田美保先生
	月曜家庭集会	(休会)	
10/26(水)午後7:30	バルナバ祈禱会	教会堂	司 会：笹川 清子姉
10/28(金)午後1:30	しゃべり場タピタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊 智子姉
10/28(金)午後8:00	金曜祈禱会	教会堂	

10/30(日) 聖霊降臨節第24週

第一礼拝 午前8:00	司 会：近 伸之牧師 説 教	演奏機：片山 勝三兄	献 金：沼田佐代子姉
教会学校 午前9:00	担 当：片山 初子姉		
歓迎礼拝 午前10:00	司 会：片山 勝三兄 集 会：横堀 信子姉 音 響：横山 洋平兄	映像・録画：近 伸之牧師 奏 楽：片山 敬子姉 片山 麻美姉 近 ゆかり姉	感謝祈禱：片山 健司兄 掃 除：片山 初子姉
礼拝について	聖書(予定)『サムエル記 第一』17章1～54節 頌栄：60 派遣：54	応答：428	
午後の予定	午前2:00	賛美練習	教会堂にて
※諸般の事情により、夕拝はしばらくの間休会とします			

報 告

1. 本日の予定
歓迎礼拝の恵みを感謝します。みことばを握りしめて一週間を歩みましょう。この後は、教会バザーの準備を整えて正午よりバザー開始といたします。物品備品の移動などございますが、事故や怪我の無いように祈りつつ協力して進めましょう。
2. 次世代宣教セミナーについて
来月3日(木・祝)、宣教区といのちのことば社共催で同セミナーが開催されます。申込み制となっております。今週が申込締切となります。会堂入り口にも案内が掲示してありますので、参加希望の方は牧師家に声をおかけください。
3. 先週の来会者
10月16日(日)第一礼拝に、金 賢淑姉、朱 真江姉が出席され、第二礼拝に西野 勲兄が出席されました。また、16日(日)の教会学校、第二礼拝、21日(金)のバザー準備に山崎敦美さんが集われました。

東京の目黒に住んでいる3歳の坊やが、こんな詩をつくりました。

「ねえ、ママ、たいようっていくつあるの？ボクのおうちでしょ。ほいくえんでしょ。おおさぎでしょ。かまがやでしょ。マリちゃんのおうちでしょ。道を歩いてもあるしね。やっぱり、8コはあるんじゃない！」

この詩に、詩人の川崎洋さんが、こんな感想を寄せていました。

「だれにでも一つずつ太陽があると思うと、なんだかとても勇気づけられるものを感じますね。」

今さら言うまでもなく、太陽は、すべての生命を支えるエネルギー源です。太陽は地球に光を与え、直接、間接にいのちを与えているといえましょう。さきほどの詩ではありませんが、太陽はどこにいてもある、人類最大の公共物といったらいいでしょうか。

ところで、イエス・キリストも、この太陽についてこう言われました。

「天の父は、悪い人にも良い人にも太陽を上げ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるからです。」(マタイの福音書5:45)

住宅事情の貧しい日本では、確かに、陽の当たらない部屋や、陽の当たらない場所を強いられることもあります。お天気の良い日に外へ出

れば、だれの頭上にも太陽は輝いてくれます。あいつはなまけ者だから、あいつは悪人だから、あいつの上だけは陽が照らない、というようなことはありません。

実は、イエス・キリストは、太陽の光にたとえて、神さまの恵みは良い者の上にも悪い者の上にも、強い者の上にも弱い者の上にも、また賢い者の上にも愚かと思われる者の上にも等しく注がれているのだ、とおっしゃっているのです。

太陽の光は目に見えますし、暖かさも感ずることが出来ます。しかし、神さまの恵みは、気づこうと思わなければ、それですんでしまうのです。

もしかすると、今あなたがすごしていらっしゃる毎日は、どんより曇った冬空のような天気に見えるかもしれません。しかし、雲の上にはいつでも太陽が輝いているように、神さまの恵みはあなたに対しても豊かに注がれているのです。

この神さまの恵みに目を向け、豊かな光を全身に浴びて、いのちにあふれて生きていこうではありませんか。



どんぐりの
ところ得るまでころがれり

(成瀬櫻桃子)

2016年度教会目標

「信仰の家族に善きことを」

年間目標 それぞれに違った賜物を与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「機会のあるあだに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう」(ガラ6:10)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。

☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



10/29(土)「苦しみの中で」渡辺十九夜さん

茨城県北茨城市にある温泉旅館「としまや月浜の湯」の女将・渡辺十九夜さんは、創業100年を超える「としまや」で生まれ育ち、女将として20年以上働いてきました。2011年の東日本大震災では、津波で一階部分が壊滅するなど、旅館の存続危機を経験しましたが、七ヶ月後に経営を再開しました。大きな試練の中で渡辺さんを支えたものは、キリスト教の信仰だったといいます。旅館の様子を紹介するとともに、渡辺さんにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN。ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

